

2025年度 町田市総合防災訓練について（案）

まちだ未来づくりビジョン2040のまちづくり基本目標として掲げる「みんなが安心できる強いまちになる」の達成に向け、「ひと・まちを災害に強くする」ことを目的とし以下の訓練を実施します。

まちだ未来づくりビジョン2040の基本目標

政策9 みんなが安心できる強いまちになる

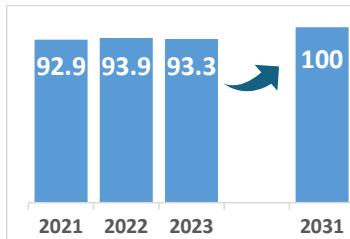
なりたい姿：大規模災害などがあっても、みんなが協力し合い、乗り越えようとする連帯感が生まれています。

政策9-1 ひと・まちを災害に強くする

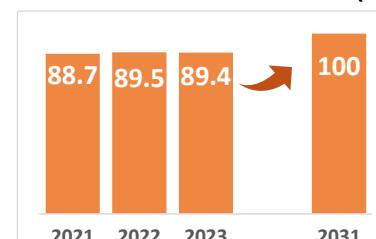
なりたい姿：市民一人一人が、災害に対して備えるとともに、地域における防災活動に参加することで、地域が一丸となって災害に対応する体制が整っています。

町田市の災害対応における現状と総合防災訓練の目的

現状① 自主防災活動実施率(%)



現状② 災害など非常時に対して備えている市民の割合(%)



現状③ 防災関係機関との連携

防災関係機関との連携の再確認

2024年度

現状④ 町田市事業継続計画の修正完了

BCP修正完了

2024年度

達成に向けて

総合防災訓練の目的達成に向けた取組

目的① 防災を担う人づくり

目的② 自助・共助の推進

目的③ 関係機関の災害対応向上

目的④ 町田市版BCMの推進

目的	各訓練名	内容	目指す成果	実施時期
目的① 防災を担う人づくり 防災の担い手づくりを進め、地域のリーダー並びに将来の防災の担い手となる人材の確保・育成を推進します。	①防災フェスタ ②防災教育	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活から繋がる防災力の向上を目指し、未来の担い手となる若年層など幅広い層の方が防災に興味を持つきっかけを提供する防災関係機関連携の体験型防災普及イベント 小、中学生を対象にまちだ防災カレッジを通じた消防団や自主防災組織が参画する防災教育 	日常生活の中で防災を意識するきっかけづくりのため、体験型の防災イベントの実施や、自らの安全を守る能力を幼い頃から継続的に育成し、若年層を含めた幅広い年齢層が防災に興味を持つことで持続可能な防災活動の実現、地域の防災ネットワークの強化を目指します。	①11/2（日） 場所：町田シバヒロ他 ②通年
目的② 自助・共助の推進 災害時の助けとなる割合は、自助70%、共助20%、公助10%と言われており、自助・共助の意識の向上を推進します。	①在宅避難の周知（町田市版マンション防災） ②避難施設開設運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> 在宅避難についてまちだ防災カレッジを通じた講座の開催、防災フェアでの普及啓発展示 自主防災組織、避難施設指定職員、学校関係者による避難施設開設運営訓練 	在宅避難と避難施設への避難は、状況に応じて選択されるという理解を促進し、適切に判断するための選択肢と事前の準備ができることを目指します。 市内避難施設について、開設・運営手順が確認され、有事に備えた運営関係者相互の連携強化を目指します。	①7～9月、1～3月 ②通年
目的③ 関係機関の災害対応力向上 震災は町田市のみで対応できるものでなく、市全体で連携した対応が必要となるため、関係機関との災害対応力向上が重要です。	①震災訓練（救出救助訓練） ②震災対応機関連携図上訓練（自衛隊、警察、消防）	<ul style="list-style-type: none"> 東京消防庁第九方面本部との大規模合同訓練として、震災時を想定した訓練の実施 震災対応機関が連携した図上訓練を市庁舎内で行い、震災時の災害対策本部運営、情報共有要領の相互確認を図る 	合同訓練を通じて迅速な対応力、現場対応力の向上、協力体制の強化を目指すとともに、課題や改善点を明確にします。これにより連携強化が図られるとともに実際の災害時に備えて計画や手順の見直しが進められます。	①11/29（土） ②4/23（水） 11/21-23のうち1日
目的④ 町田市版BCMの推進 町田市地域防災計画（2023年度修正）、町田市事業継続計画（2024年度修正）の実効性を確認し、次回修正につなげるための訓練を実施する必要があります。	①調達・輸送業務連携訓練 ②震災対策部訓練 ③医療救護訓練 ④震災図上訓練	<ul style="list-style-type: none"> 調達・輸送に係る対策部間の業務連携訓練 各対策部による震災活動訓練 緊急医療救護所の設置・運営 大規模地震発生直後の状況を想定し、各種計画の検証及び災害対応力の強化を目的とした図上訓練 	各対策部の所掌事務の確認を行い、地域防災計画の実行性の検証を目指します。 また、町田市医師会、町田市薬剤師会、町田市歯科医師会、町田市柔整師会と連携し緊急医療救護所の運営訓練を行うことで連携強化を目指します。	①12～1月 ②5～3月 ③10月下旬 場所：市有施設又は病院 ④1月